

# 令和 7 年度 三好市立学校 評価報告書

学校名( 山城中学校 )

校長名( 井手 智 )

作成日 令和8年3月18日

## 1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営方針を全教職員で共有するとともに、意欲的に教育活動に取り組むことができたが、日々の実践において協働する意識を更に高める必要がある。</li> <li>学校教育目標の具現化に向け、基本となる教育課程に加えて、ふるさと学習やコミュニケーション活動など、外部人材の活用にも積極的に取り組むことができた。教職員の資質向上については、全体研修の持ち方やメンター制度の活用を、より効果的なものにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が一丸となって、学校運営にあたっている。地域の特性を生かした学校づくりを継続してほしい。</li> <li>学校ホームページや校内の掲示物から、生徒の活動や学びの様子がよく分かる。また、教科や校務分掌ごとの掲示物も充実している。昨年度に続き、生徒の良さを認め合える工夫がなされている。</li> <li>生徒へのアンケートの結果は、どの問いについても概ね好ましい回答になっているが、それに安心せず生徒理解に努めてほしい。アンケート結果には反映されない、悩みや不安を持っている生徒がいるかもしれない。</li> <li>昨年度に比べ、SNSの利用が好ましくない影響を与えていると回答した割合が減っている。継続的な指導の効果だと思うので、引き続き啓発を続けてほしい。</li> <li>生徒数の減少に伴い、様々な活動でスリム化に取り組まなければならないのは残念だが、持続可能な形となるよう柔軟に対応してほしい。また、小規模校の利点を生かした活動に、引き続き取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営方針の具現化に向け、教職員一人一人のもつ良さが発揮され、積極的に学校運営に関わろうとする意欲に満ちた組織づくりに努める。</li> <li>校務分掌の平準化を図ると同時に、若手教職員へのサポート体制を更に充実させる。また、効果的な研修を年間を通して計画的に実施し、教職員一人一人のスキルアップを図る。</li> <li>人権教育の更なる充実を図り、子どもたちが自分は大切にされ、正しく評価されていると実感できる、安心安全な学校づくりに取り組む。</li> <li>学校での学習に一生懸命に取り組んでいると回答した生徒の割合に比べ、家庭学習に意欲的に取り組んでいると回答した生徒の割合が約10%低いので、タブレット端末等を効果的に活用するなどして、家庭学習の充実に取り組む。</li> <li>タブレットやICT機器の効果的な活用につながる研修に継続的に取り組み、校務の効率化や業務改善に努める。</li> <li>鉦踊りやかずら橋の架け替えなどを通して、ふるさと学習に継続的に取り組み、地域の中で輝く生徒の育成に努める。</li> </ul>
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標の具現化に向け、基本となる教育課程に加えて、ふるさと学習やコミュニケーション活動など、外部人材の活用にも積極的に取り組むことができた。教職員の資質向上については、全体研修の持ち方やメンター制度の活用を、より効果的なものにする必要がある。</li> </ul>		
③ 主要な教育活動に関する評価	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々や外部講師の方々のお借りしながら、ふるさと学習やコミュニケーション活動など、本校ならではの活動を継続・深化することができた。</li> </ul>		
④ 保護者や地域との連携に関する評価	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒数の減少に伴い、行事はもちろんのこと、あらゆる事柄で精選とスリム化に取り組み、持続可能なものとなるよう見直しを重ねた。</li> <li>PTA活動は、負担軽減と持続可能なものにすることを念頭に最小限にとどめた。</li> </ul>		
⑤ その他、上記以外に関する評価( )	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年だよりや学校ホームページを活用して、学校生活の様子を定期的に発信することができた。</li> </ul>		

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 80~100 %  
 3=達成度が 50~ 80 %  
 2=達成度が 30~ 50 %  
 1=達成度が 30% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の( )には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。